

平成30年度

支部活動報告

横浜市小学校音楽教育研究会

目 次

1. 平成30年度支部長会年間活動報告

2. 各区年間活動報告

- (1) 鶴見区
- (2) 神奈川区
- (3) 西区
- (4) 中区
- (5) 南区
- (6) 港南区
- (7) 保土ヶ谷区
- (8) 旭区
- (9) 磯子区
- (10) 金沢区
- (11) 港北区
- (12) 緑区
- (13) 青葉区
- (14) 都筑区
- (15) 戸塚区
- (16) 栄区
- (17) 泉区
- (18) 瀬谷区

平成30年度

鶴見区 音楽研究部 活動報告

1. 研究主題

「音楽の楽しさを味わいながら、豊かな音楽性を培う指導の在り方」

～児童が音楽の楽しさ・美しさを感じ取り、友達と学び合う中で自分の考えを深め、生き生きと自己表現する喜びを味わえる学習をめざして～

2. 研究主題について

学校教育における音楽科は、音楽のもつ芸術的な特性を生かしながら、音楽に対する感性及び音楽活動の基礎的な能力を培い、心豊かな人間を育成することを目指している。小学校における音楽科では、表現および鑑賞の様々な活動を通して、子どもの心に直接的に働きかけ、創造性や協調性、社会性、あるいは深い探求心をはぐくみ、子どもたちがより豊かに生きようとする姿を支援しようとするものである。

音楽科の学習の中で、子どもは様々な音楽との出会いを通して、自分の思いや願いをもち、それを表現しようと、創造性や自分らしさを発揮しながら、豊かに活動していく。その活動ひとつひとつを大切に、温かく受け止めて、適切に支援していくために、指導法や手立てを工夫することが大切である。さらに、協同的な学習を促すことで、友だちとかかわり、学び合いながら自分の考えを広げたり、深めたりする姿勢を育てていく。

児童一人ひとりが、思いや意図をもって生き生きと豊かに表現する喜びを味わえるように、共通事項の理解や、言語活動の十字部もふくめた学習活動を通して、音楽性の基礎・基本を培い、音楽的な感受を伸ばし高めていくことが必要であると考え、上記主題を設定した。

3. 研究主題に迫るための取組

鶴見区音楽研究部では、様々な研修会で、表現および鑑賞の様々な活動を通して、子どもの心に直接的に働きかけ、創造性や協調性、社会性、あるいは深い探求心をはぐくみ、子どもたちがより豊かに生きようとする姿を支援する手立てを学んだ。

1年間の活動を通して、新学習指導要領の3つの柱を意識した音楽授業づくりという視点で、カリキュラム作成についての情報交換をしたり、実技研修をしたりした。

また、一斉授業研究会では、音楽づくりや歌唱の活動を通して、子ども達が自分らしさを発揮しながら豊かに活動していく姿を目指した。活動ひとつひとつを大切に、温かく受け止めながら、適切に支援していく指導法や手立てを工夫について、研究討議がなされた。さらに、講師の方にご助言頂きながら、効果的なグループ活動の在り方や、課題を共有できるような手立てなどを学んだ。また、楽器を扱う場合に形から入らずに、どのように演奏したらよいのかを子ども自身が考え、言葉にすることができるようになり、「どうしてそう思った？」などと問い返して音にもどっていったりする活動をくり返すことで、思いや意図をもって生き生きと豊かに表現する姿勢を育んでいく大切さを学ぶことができた。

4. 研究の経過

月	日	曜日	種別	活動内容	会場	講師
4	11	水	総会	新研究会員紹介 年間活動計画提案	豊岡小	
5	16	水	研究	年間活動計画伝達 実技研修（リコーダー）	平安小	
6	13	水	研修	和太鼓研修会	馬場小	寺尾小学校 石原幹雄先生
7	11	水	行事	区音楽会実施案検討 カリ作成についての情報交換	末吉小	(提案) 末吉小学校 渋谷エリ先生
8	20	金	研修	実技研修（指揮法）	豊岡小	矢向中学校 杉原 文則先生
9	12	水	研修	区一斉授業指導案検討	獅子ヶ谷小	
10	10	水	研究 行事	区一斉授業指導案検討 区音楽会最終確認	獅子ヶ谷小	
11	6 8 9	火 木 金	行事	区児童音楽会	サルビア ホール	
11	14	水	研究	区一斉授業研究会	獅子ヶ谷小	あざみ野第一小学校 校長 藤馬直子先生 平安小学校 校長 久城博之先生
12	12	水	研究	卒業式についての情報交換	豊岡小	
1	16	水	研究	来年度の組織編成について 年間活動内容の振り返り	平安小	
2	20	水	総会	情報交換 年度のまとめ	平安小	

5. 研究のまとめと今後の課題

音楽研究部では、毎年、実技研修の充実を意識した活動計画を立てている。今年度も、和太鼓やリコーダーなどの研修を通して、児童が音楽の楽しさ・美しさを感じ取り、生き生きと自己表現する喜びを味わう姿を目指した授業づくりについて研究を進めた。様々な研修の中で、「本時で目指すべき子どもの姿（何ができるようになればいいのか）」を教師が明確にもって、教材研究をしたり、指導計画を立てたりすることの大切さを学ぶことができた。新学習指導要領改訂に伴う授業内容の見直しや、評価の観点などについても、一斉研などを通して学ぶことができた。

また、指揮法講習会では、音楽部以外の先生方にも参加頂き、歌唱の指揮法の基本を学んだ上で、曲調に合わせた指揮の仕方や、子ども達に伝わる指揮の仕方を学び、音楽会に生かすことができたという声を多く聞いた。

今後も、児童一人ひとりが、思いや意図をもって生き生きと豊かに表現する喜びを味わえるように、共通事項の理解や、言語活動の充実もふくめた学習活動を通して、音楽性の基礎・基本を培い、音楽的な感受を伸ばし高めていくことのできる指導の在り方を研究していく。

平成30年度 神奈川区音楽教育研究会活動報告

1 研究主題

音楽の楽しさ、美しさを感じ取り、
一人ひとりが生き生きと表現しようとする学習のあり方
～子どもの主体的な学習活動を支えるための 教師の支援のあり方を探る～

2 研究主題について

音楽学習において、最も基本的で大切なことは、子ども一人ひとりが、自ら音楽に興味・関心を示し、学習しようと意欲をもつことである。音楽における興味・関心・意欲は、表現や鑑賞の活動を通して、音楽の楽しさ、美しさを感じる中で育つものである。従って、このような心情に基づく学習は、子ども自身が音楽そのものについて自ら働きかけ、自ら学び取ろうとする主体的学習活動が展開されていくとき、初めて生き生きとした楽しい音楽学習が実現し、音楽活動をさらに積極的に進めようとする意欲や態度を喚起するものである。

このような音楽科学習を展開するために、子ども一人ひとりが音楽の楽しさ、美しさを感じ取り、心の中に芽生えた感動を生き生きと表現できるための音楽科学習がどうあるべきかを探り、研究していくために本主題を設定した。

3 研究仮説について

めあてを達成できた満足感・成成感、次の学習への意欲や態度につながり、このような学習活動を繰り返すことができれば、子どもの主体的な学習活動が活発化していくはずである。それにより「一人ひとりが生き生きと表現しようとする学習」が達成される。

子どもの主体的な音楽活動は、表現や鑑賞の活動を通して「きれいだな」「楽しいな」「演奏してみたいな」「聴きたいな」等と感ずることから始まる。そして、自らリズムをとったり、口ずさんだり、演奏したり、聴いたりする中で「きれいな音を出すためには、どうしたらいいのかな」「もっと楽しくするためには、どうしたらいいのかな」「重ね合わせてみたらどうだろう」「今度はこの方法でやってみよう」「もっとよく聴いてみよう」「友達の音と合わせてみよう」というようなめあてをもつようになる。学習活動を通し、このめあてが達成できたときの満足感・成成感、また次の学習への学び続ける意欲や態度へとつながる。このような学習活動を繰り返すことができれば、子どもの主体的活動が活発化していくと考えられる。

子どもたちの満足感・成成感を実現し、指導者も共に楽しく学習を進めていくためには、子ども一人ひとりが自分にあった「めあて」を立てることができ、そのための支援と学習活動に対する適切な評価があり、その評価に基づいた指導をしていくことが大切である。教師は、支援の仕方を探ると共に、評価に基づいたより効果的な支援のあり方も探っていくことにする。

4 研究組織

(1) 研究会長	大口台小学校	田 川 齊 史	校長先生
(2) 世話人校長	中丸小学校	山 田 尋 通	校長先生
	池上小学校	寶 來 生 志 子	校長先生
(3) 世話人副校長	子安小学校	佐 藤 朗 子	副校長先生
	羽沢小学校	小 嶋 千 里	副校長先生

(4) 部員 学校数 19校 部員数 59名
運営委員

係 名	学 校 名	氏 名
部 長	西寺尾第二小学校	長澤 歩
副 部 長	神奈川小学校 羽沢小学校	栗原 希久子 杉中 咲智
研 究 部	子安小学校	新谷 亜希子
研 修 部	二谷小学校	藤原 朝美
事 業 部	大口台小学校	古城 京子

5 研究活動の経過・内容

月	日	曜	内 容	会 場
4	11	水	年間活動計画検討、組織作り、係分担	子安小
5	16	水	研究テーマ確認、年間活動計画確認、区音楽会日程等確認	西寺尾第二小
6	13	水	歌唱研修 「子どもの思いや意図を引き出す歌唱の授業」 講師：並木第一小学校 副校長 松崎 由里子先生	子安小
7	11	水	実践提案 ① 中丸小 青柳 直人教諭 学習の主題「曲に合った美しい音色で楽器を演奏しよう」 ② 神大寺小 久保 美和教諭 学習の主題「全体の響きを聴いて歌おう」	中丸小
8	20	月	一斉授業研究会へ向けての教材研究	幸ヶ谷小
9	12	水	指揮法研修 ～区音楽会へ向けて～ 講師：さわの里小学校 校長 後藤 俊哉先生	白幡小
10	10	水	一斉授業研指導案検討 区音楽会確認・係打合せ	幸ヶ谷小
10 11	31 1 2	水 木 金	区児童音楽会 1日目 // 2日目 // 3日目	神奈川 公会堂
11	21	水	区一斉授業研究会 講師：さわの里小学校 校長 後藤 俊哉先生 1年生 國吉 麻理奈教諭 学習の主題「思いをもって簡単な音楽をつくろう」 4年生 飯塚 琴美教諭 小松 亜紀教諭 学習の主題「互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏しよう」	幸ヶ谷小
12	12	水	実践提案 ③ 斎藤分小 水野 雄介教諭 学習の主題「思いや意図をもってまとまりを意識した音楽を作ろう」 ④ 菅田小 成田 美加教諭 学習の主題「互いの歌声を聴き、声を合わせて歌おう」	斎藤分小
1	16	水	リコーダー研修 ヤマハ「デジタル音楽教材を用いたリコーダー指導」	二谷小
2	20	水	年間活動反省 区音楽会反省	西寺尾第二小

6 研究のまとめ

今年度の研修は、それぞれのテーマで講師の方から丁寧なご指導をいただき、大変充実したものになった。年度末反省で実技研修の要望が出されているので、次年度に向けて検討したい。

実践提案では、区の研究テーマに沿った授業提案で、実際に使った教材や授業の映像記録などを通して、明日からの授業に生かせる学びとなった。一斉授業研究会では、たくさんの先生から活発な意見・感想が出され、とても充実した研究協議会となった。講師の先生からは、音楽づくりでは、一人ひとりの表現をよく見て、思いを汲み取り、価値づけてあげること、音を重ねると楽しい、と実感できることの大切さを教えていただいた。器楽においては、音や楽譜などの根拠をもとに話し合う、音を出しながらかわり合える姿を目指すこと、この曲を通して何を学ばせたいのかを明確にすることの重要性について、実際に音を出しながら分かりやすく教えていただいた。

今年度の反省を生かして、次年度もより充実した研究にしていきたい。

西区音楽研究会活動報告

1. 研究テーマ

『児童の表現を豊かにするための授業のあり方について』
～一人ひとりが生き生きと楽しんで表現できる音楽活動をめざして～

楽しく豊かな音楽活動を通して、一人ひとりの子どもが音楽の基礎・基本を確実に身に付けていくことができるよう、授業のねらいや流れ、手だてについて探っていきたいと考え取り組んだ。また、児童の個を生かし、創造的で主体的な学習活動を展開するには、児童一人ひとりが音楽の楽しさや美しさを感じ取り、心の中で芽生えた感動を生き生きと表現できるための場の設定や効果的な教師の支援が必要になってくると思われる。「自ら生き生きと表現する児童」の育成をめざして、多方面にわたる研修や研究を深め、指導法を探りながらテーマに迫るようにしてきた。

歌唱・表現については、指揮法について実技研修を図るようにした。器楽については、鍵盤ハーモニカの奏法を中心に実技研修を図るようにした。鑑賞については、今年度研修する機会がなかったので、来年度に取り入れていけたらと考えている。児童一人ひとりが生き生きと取り組むための実践提案を持ち寄り、各学校の取り組みの情報交換ができた。

行事としては、区児童音楽会の企画・運営に当たった。児童にとって思い出に残り、さらに音楽活動をしていこうとする意欲が持てるような音楽会を計画するようにした。

一人ひとりが生き生きと表現できる児童の育成を目指しながら研修や研究を深め、その中で授業のあり方を探り研究テーマに迫ることができた。

2. 研究経過と内容

月	日	会場	領域	内容	提案
4	1 1	西前		『組織作り・年間計画』	平沼
5	1 6	平沼	研 修	『年間計画の確認』 『音楽活動について情報交換』 ・音楽会や音楽集会、音楽朝会等の各校での音楽活動についての情報交換や、鍵盤ハーモニカの使用について等情報交換を行った。	平沼
6	1 3	稲荷台	研 究	『実践提案』 「スタートカリキュラム実践事例」について提案があった。実際の45分間の活動の様子をVTRで見ることにより、入学した	稲荷台

				ばかりの1年生の様子や、音楽を有効的に用いた支援について学ぶことができた。	
7	1 1	平沼	研 修	『 実技研修～鍵盤ハーモニカ指導法～ 』 「横浜楽器サービス」の講師の先生を招き、実技研修を行った。実際に演奏しながら具体的な奏法を学ぶことができた。	西前
8	2 0	富士見台	研 修	『 実技研修～ICT機器の活用について～ 』 タブレットの使用方法や、「みらいスクールステーション」の活用法について、実際に操作しながら学んだ。日々の実践に生かすことのできる有意義な研修であった。	富士見台
9	1 2	平沼	研 究	『 実践提案 』 1年生の鑑賞「シンコペーションクロック」の実践提案を受けて、1年生の実態に応じた鑑賞領域の手立てのあり方について考えることができた。	浅間台
1 0	1 0	平沼	行 事	『 区音楽会打ち合わせ① 』	一本松
1 1	1 4	平沼	研 修 行 事	『 実技研修～区音楽会に向けて指揮法～ 』 金沢少年少女合唱団指揮者平井保先生から指揮の基本についてや、実際に音楽会で演奏する曲の指揮について楽曲解釈をしながら教えていただいた。 『 区音楽会打ち合わせ② 』	平沼 一本松
1 2	1 2	中区	研 究	『 西・中区合同一斉授業研指導案検討 』	中区
1	1 6	中区	研 究	『 西・中区合同一斉授業研 』	中区
1	3 0	青少年センター	行 事	『 区音楽会 』	一本松
2	2 0	平沼	研 修	『 一年間の反省・次年度に向けて 』	平沼

◇今年度の成果と今後の課題

本年度も研究主題に沿って、部員による実践提案や講師の先生方を招いての研修会、研究の成果を確認する児童音楽会など、様々な視点から研究を深めることができた。

部員による実践提案では、日ごろの悩みを気軽に話し合ったり、指導方法について学んだり、各学校の取り組みの情報交換をすることができた。研修会では、本年度も継続して同じ講師の先生に学ぶことができたので、昨年度の反省を生かした研修を行うことができた。話を聞くだけでなく、実際に活動することで得るものも多く、日々の音楽指導に生かせる内容であった。今後も明日の授業に生かせる研修を多く行っていきたい。

平成30年度 中区音楽研究会活動報告

1. 研究テーマ

**音楽のよさや楽しさを感じ取り、
思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする子どもの育成
～音楽と豊かにかかわる資質・能力を育成する支援の在り方～**

○研究テーマ設定の理由

学習指導要領解説音楽科編において「音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする力を育成すること、音楽と生活とのかかわりに関心をもって、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度をはぐくむことなどを重視する」ことが改訂の趣旨に述べられている。これをふまえ、本音楽教育研究会でも「音楽のよさや楽しさを感じ取る」という点と「思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする」という点について研究を進め、このような子どもを育成するための指導法の工夫について検証していこうと考えた。

○研究テーマのとらえ

・「音楽のよさや楽しさを感じ取り」について

歌唱や器楽、鑑賞の活動において、取り扱う楽曲の曲想を聴き取ったり感じ取ったりし、その曲想を生み出している根拠を明らかにしていくことが大切である。つまり、「音楽を特徴付けている要素」や「音楽の仕組み」などといった、「音楽を形づくっている要素」を聴き取り、それらの働きが生み出す楽曲そのもののよさや楽しさを感じ取ることが必要である。また、音楽づくりの活動においても、素材の面白さや、音階独特の特徴、たとえば沖縄音階のよさを感じ取り、それを生かして音楽をつくるなど、音楽づくりをする際にも教材そのもののよさを感じ取ることが大切である。

・「思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする」について

歌唱や器楽、音楽づくりなどの表現活動においては、「こんな風に演奏したい。」「こんな音楽をつくりたい。」という、表現に対する自分の明確な考えや願い、意図を持って活動するということである。

また鑑賞活動においては、基礎的な鑑賞の能力を育むだけでなく、音楽の全体の流れに浸りながら、音楽のよさをじっくりと味わうようにすることが大切である。

○サブテーマ「音楽と豊かにかかわる資質・能力を育成する支援の在り方」について

平成32年度より学習指導要領が改定されることとなり、サブテーマを変更することとなった。「音楽と豊かにかかわる」ためには、音楽活動の楽しさを体験しながら、楽曲の魅力に触れ、音楽の素晴らしさを実感できる授業だと考える。「音楽と豊かにかかわる資質・能力を育成する支援」として、次の点について工夫して取り組んでいく。

①楽曲の魅力を感じるための出会いの工夫

②音楽表現を工夫したり、聴いた音楽を自分たちの言葉やその他の方法で表したりして、音楽に主体的に関わるための手立て（友だちとのかかわり合いも含むなど）

③音楽表現の高まりや、より深く鑑賞できたことを実感できる手立て

これらの視点をもった学習活動を意図的に設定することで、テーマにあるような子どもの姿につながっていくと考える。教材をよく吟味し、効果的な手だてを講じることを大切にしながら研究を進めていく。

3 研究活動

月日	会場	活動内容
4月11日(水)	本町小	・研究テーマ 年間計画確認 ・組織作り
5月16日(水)	立野小	・研修①「歌唱」講師：杉田 桂子先生（瀬谷小学校）
6月13日(水)	北方小	・実践提案①（北方） ・児童音楽会打ち合わせ①
7月11日(水)	本町小	・研修②「音楽づくり」講師：佐藤 朗子（子安小学校 副校長）
8月20日(月)	大鳥小	・研修③「指揮法」講師：館 先生（つづきの丘小学校）
9月12日(水)	立野小	・児童音楽会打ち合わせ② ・実践提案②（立野）
10月10日(水)	本町小	・児童音楽会打ち合わせ③ ・会場の下見
11月6日(火)	関内ホール	中区児童音楽会 講師：大幸指導主事
11月14日(水)	元街小	・音楽会反省 ・授業研究会指導案検討①
12月13日(水)	元街小	・授業研究会指導案検討②（西・中区合同）
1月16日(水)	元街小	西・中区合同授業研（中区 元街小学校） 講師：南部学校教育事務所 今村指導主事
2月20日(水)	本牧南小	・今年度の振り返り ・来年度に向けて

4 成果と課題

○研修について

- ・年度の前半には、研修を多く入れ、日々の授業に役立てることができた。内容についても、毎年同じ分野にならないように、今年度は、歌唱、音楽づくりについて取り上げた。
- ・夏休み中の指揮法指導は曲を決めたばかりで指揮者の曲への理解が不十分との昨年度の反省より、今年度は、全員が同じ曲についての指揮の基礎・基本を丁寧に教えていただいた。学校によっては決まっている学校もあるので、研修の後半に質問をする時間などを設定できるとよいかもしれない。

○区児童音楽会について

- ・子ども達にとって、よい発表・鑑賞の場となった。音楽会後の講師の先生からのご指導ありがたい。
- ・今年度は工事により、県立音楽堂から関内ホールになったが、係同士が連携を取り合ってスムーズに進めることができていた。来年度は県立音楽堂になるので、例年通りに戻るが、よりよい音楽会になるよう、係の計画、準備を大事にしていきたい。

○研究について

- ・テーマに沿った研究を深めるために、実践提案の回数や提案内容・考察の在り方について改善したい。

平成30年度 南区音楽研究会 活動報告

1 研究テーマ

「音楽の楽しさ・美しさを感じ取り、豊かに表現できる子を育てる指導のあり方」
～ 一人ひとりの児童が生き生きと取り組む創造的な音楽学習を目指して～

これからの音楽教育では、子どもたちが音楽を聴いたり、演奏したりして、様々な音楽に積極的に働きかけ、その音楽のよさや美しさを感じ取り、よりよい表現に向けて、思いや意図を持って自ら創り上げていくような活動を充実させていくことが大切であると考えます。そこで一人ひとりの児童がもっている音楽性が生き生きと発揮されるとともに、友だちの音をよく聴き合い、表現の工夫をしながら共に学ぶことができるよう、【共通事項】との関連を意識しながら、創造的な音楽学習活動の展開を目指して、今年度もその指導法について研究を進めることにしました。

2 研究内容と方法

(1) 内容

- ア 今年度は特に『器楽』分野をテーマとした実践提案をもとに、一人ひとりの児童が生き生きと取り組む音楽学習を目指した指導法の研究を行う。
- イ 歌唱、指揮法、器楽などの実技研修をすることにより、指導技術の向上を図る。
- ウ 児童の表現活動を通して、よりよい音楽活動のあり方を研究する。

(2) 方法

- ア 研修・研究部
 - ・研究会（「みな音情報交換会」を含む）の計画、立案、会の運営にあたる。
- イ 行事部（児童音楽会）
 - ・南区児童音楽会の計画、立案、反省会の運営をする。
- ウ 広報部
 - ・毎月の研究会の内容を、一週間前に部員に連絡する。
 - ・毎月の研究会の内容を記録し、編集して研究会だよりを発行する。

3 研究活動・実践事例

(1) 実技研修

①器楽研修（5月16日 日枝小学校にて）講師：さわの里小学校校長 後藤 俊哉先生
「新学習指導要領が目指すもの」ということで資質・能力の3つの柱や評価の在り方等を解説いただいた。

また、「汽車は走る」「キリマンジャロ」「風を切って」を実際に演奏することで、反復やシンコペーションなど、何をそろえたらぴたり合うのか考え、指導に生かす機会となった。

②器楽研修（6月13日 日枝小学校にて）講師：戸塚小学校副校長 澁田 美穂先生
1年生の「どんぐりさんのおうち」「こぐまの2月」の鍵盤ハーモニカの基礎から研修を受けた。また、リコーダーの導入や、マレットの持ち方など、基礎となる部分も教わった。6年生の「風を切って」は、小学校最後の合奏となるので、色々な楽器や役割を感じられるようにさせたり、歌詞を大切にさせたりすることを学んだ。

③指揮法研修（8月20日 日枝小学校にて）講師：河本 健一 先生

「ふるさと」「夢の世界を」等、拍子が異なる4曲を用いて、全員で指揮法の基礎を学んだ。指揮者の立ち方や、歌い手と一緒に呼吸し、指揮をすることの大切さを学んだ。初めて指揮をする先生から専科の先生まで、実際に指揮をしながら、打点の取り方や抑揚の付け方など、丁寧にご指導いただき、区児童音楽会に生かせる研修となった。

(2) 実践提案

①「曲の特徴を感じ取って聴こう」(7月11日 南太田小学校にて)

中心教材「ゆかいな木さん」 提案者：佐藤 芙美絵先生

時数を考えると対話的な学習にするのは難しかった、という佐藤先生の自評から、どのように子どもと活動していくのがよいのか、ということや、階名指導、グループ奏の取り組み方等、色々な話題になった。

②「全体の響きを聴いて演奏しよう」(1月16日 南小学校にて)

中心教材「キリマンジャロ」 提案者：石井 明子先生

グループに分かれての合奏指導では、お互いのグループの演奏の、どのようなことに気づかせたり、どの部分に注目させたりして活動したかを中心に提案していただいた。5年生の教材ということで、この曲の授業をしたことのない部員が多かったため、教材となる曲との効果的な出会わせ方、導入の仕方等の話になった。

(3) みな音情報交換 日ごろの悩みを出し合い、テーマを決めて情報交換を行っている。

○年間計画(5月16日)

平成30年度の計画を立てた。今年度はテーマや話題を絞り、効率よく情報交換をしていくことを確認した。

○「掲示物やワークシートについて」(7月11日)

日頃の授業の中で、どのような掲示物やワークシートを使っているのか、実際のワークシートを持ちよって情報交換をした。

○児童音楽会の歌の練習「tomorrow」(8月20日、9月12日、10月10日)

子どもたちに音楽会で、どう歌って欲しいかを、教師の歌う姿で伝えられるようにすることや、歌詞の伝えたいメッセージから強弱や曲の山をとらえられるようにすることを確認しながら練習を行っていった。

○拡大みな音(12月12日)

音楽朝会などの行事や、リコーダー指導をどのように行っているかを、それぞれの学校の資料をもちより、情報交換した。

(4) 南区授業研究会指導案検討(9月12日、10月10日 南吉田小学校にて)

南区授業研究会(11月14日 南吉田小学校にて) 講師：戸塚小副校長 澁田 美穂先生

授業者(学年)「主題(教材)」:

黒田 希先生(2年)「音を合わせて演奏しよう(汽車は走る)」

小杉 佳子先生(6年)「全体の響きを聴き、音を合わせて演奏しよう(風を切って)」

今回、2名の授業者とも授業を見る視点を考えていただき、それをもとに授業参観、研究会を行ったので、参観している部員たちも、研究討議がしやすかったように思う。また、初めてグループ討議という形をとったが、少人数のためか話しやすく、活発な意見交流ができた。

講師の澁田先生からは「どちらの学年も音を介して子どもたちが交流し、分かり合える場となっていた」とのお話があった。

(5) 児童音楽会(11月15日、11月16日 南公会堂にて)

各学校の校長先生、ご指導の先生方、音楽部の先生方のご協力のもとに、各校の発表と鑑賞を行った。また反省会では、元音楽教育研究会会長河本建一先生に一校ずつご指導いただいた。

平成 30 年度 港南区小学校教育研究会 音楽研究部活動報告

I 研究主題

音楽の美しさや楽しさを感じ取り、一人ひとりが生き生きと表現できるようにする音楽活動の在り方

II 研究主題について

子どもたちが音楽の楽しさや美しさを感じ取り、一人ひとりが生き生きと表現できるようにするためには、教師が指導内容や指導方法について研究を深め、子どもたちの学ぶ意欲や能力を引き出せるような魅力的な授業を展開することが必要である。

また、豊かに表現するには、子どもたちに基礎・基本をしっかりと定着させることも不可欠である。

そこで、常にこれらの点に立ち返り、よりよい学習指導の在り方を研究していきたいと考え、この主題を設定した。

III 本年度研究活動の経過・内容

月	日	研究活動
4	1 1	桜岡小学校 ・年間研究活動計画の概要作成と、役員・研究組織の決定
5	1 6	桜岡小学校 ・年間研究活動計画決定・・・提案 部長 講師 平安小学校長 久城 博之先生 *低学年音楽指導法研修～低学年・担任の先生方へのワンポイントアドバイス～ 授業のルールや環境づくりから、歌唱・器楽・鑑賞音楽づくりの領域の日々の実践のアイデアを、部員の経験も交えながら、わかりやすく指導していただいた。
6	1 3	下永谷小学校 ・港南区小学校児童音楽会提案・・・提案 副部長
7	1 1	相武山小学校 ・実践提案① 相武山小学校 山本 佳子教諭 永野小学校 岸 真理子教諭 *山本教諭は3年生で「曲に合った自然で無理のない歌い方で歌おう」の主題による「茶つみ」の実践提案をした。 *岸教諭は3年生で「くりかえしや変化を使ってまとまりのあるリズムをつくろう」の主題による「手拍子でリズム」の実践提案をした。
8	2 0	永野小学校 講師 永野小学校副校長 伊藤 早苗先生 *音楽鑑賞研修 「くまんばちの飛行」と「白鳥」の聴き比べによる目的に迫るための選曲、「トルコ行進曲」に合わせて音楽づくりを取り入れた鑑賞法を指導していただいた。後半は、4年の鑑賞「山の魔王の宮殿にて」で、児童の立場で授業の実践を行い意見交換をしたり伊藤先生の助言をいただいたりした。
9	1 2	港南台第三小学校 ・港南区一斉授業研究会指導案検討 提案 港南台第三小学校 2年 鈴木 恵子教諭 主題 音を合わせて演奏しよう「小ぎつね」 5年 新井 絵里子教諭

		主題 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、響きのある声で歌おう「小さな鳥の小さな夢」 * 2部会にわかれ具体的な意見交換が行われた。 ・港南区小学校児童音楽会打ち合わせ
10	10	桜岡小学校 ・合唱指揮法研修 講師 桜岡小学校長 高島 典子先生 つづきの丘小学校長 館 雅之先生 * 港南区児童音楽会に向けて、楽曲の解釈や指揮の方法について、指揮をする先生方一人ひとりに具体的なご指導・ご助言を頂き、有意義な研修となった。 ・港南区小学校児童音楽会打ち合わせ
11	9 10	戸塚公会堂 ・港南区小学校児童音楽会 指導講評 つづきの丘小学校長 館 雅之先生 教職員育成課指導主事 太田 理絵先生 * 二日間、午前午後の公演を行い、各校この日に向けての成果を披露することができた。
11	14	港南台第三小学校 ・港南区一斉授業研究会 講師 東希望が丘小学校長 村上 雅基先生 教職員育成課指導主事 太田 理絵先生 提案 港南台第三小学校 主題 音を合わせて演奏しよう「小ぎつね」 5年 新井 絵里子教諭 主題 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、響きのある声で歌おう「小さな鳥の小さな夢」
12	13	丸山台小学校 ・合唱指導法研修 講師 並木第一小学校長 松崎 由里子先生 * 「冬げしき」「スキーの歌」「ふるさと」を、丸山台小学校の合唱クラブの実践を通しての研修だった。子どもから表現の工夫を引き出すことや、どの主題でこの教材を扱うか等、楽しくわかりやすく指導していただいた。
1	17	野庭すずかけ小学校 ・実践提案② 永谷小学校 藤田 寛子教諭 野庭すずかけ小学校 金子 陽子教諭 * 藤田教諭は音楽朝会について昨年度との取り組みの違いや、成果と課題についての提案をした。 * 金子教諭は4年生で「曲や演奏のよさに気づいて聴こう」の主題による「白鳥」の実践提案をした。
2	14	相武山小学校 ・年間研究活動の反省

IV まとめ

充実した研究会・研修会を行うことができた。低学年音楽指導法、鑑賞指導法、指揮法、合唱指導法研修では実際にすぐ役立つ指導方法を多く学ぶことができた。また各校の実践提案を通して、部員同士の話し合いを深めることができた。来年度も研究会・研修会を充実させていきたい。

平成30年度

保土ヶ谷区 音楽研究部 活動報告

1. 研究主題

「音楽を愛好する心情を育てる学習活動の研究」

～音楽の楽しさ・美しさを感じ取り、一人ひとりが生き生きと表現出来る音楽学習の在り方～

2. 研究主題について

音楽学習は、本来楽しい活動であり、音楽を美しいと感じる心を育てていくことが大切である。そこで、子どもたちが音楽の楽しさや美しさを素直に感じ取り、一人ひとりが生き生きと歌ったり演奏したりすることができるように、学習内容や学習活動の工夫を追求しなくてはならないと考える。音楽を愛好する子どもが、さらに増えていくことを願いこの主題を設定した。

3. 研究方法

- (1) 一斉授業研究会を通して、授業における指導・支援の在り方を研究する。
- (2) 講師を招いた実技研修会を行い、実技指導の向上を図る。
- (3) 部員の実践提案を通して、効果的な指導・支援の在り方を研究する。
- (4) 区児童音楽会を開催して各学校の演奏を聴き合い、合唱や合奏の指導力を高める。
- (5) 研究会報告で、出席できなかった部員も研修できるようにする。

4. 研究内容

(1) 一斉授業研究会

11月21日（水） 今井小学校

授業者 原 志 先生（2年担任）

音色に気を付けて楽器を演奏しよう「かぼちゃ～」(器楽)

授業者 稲葉 夏季 先生（3年担任）

様々な発想をもって、即興的に表現しよう「まほうの音楽」(音楽づくり)

講師 瀬戸ヶ谷小学校校長 横張 由香子 先生

権太坂小学校 校長 武田 浩美 先生

研究討議ではグループ討議を行い、活発に意見・感想等が出され、各グループごとに成果と課題を明確にして報告しあうなど、とても充実した会となった。講師の先生方からは、「器楽では楽器にたっぷり触れることを体験させることによって、よい音色を感じさせることが大切」や、「音楽づくりでは音の重ね方や組み合わせ方の工夫を、『見える化』することにより、思いや意図を表すことができ、全体で共有することもできる」など、丁寧なご指導をいただきとても学びの深い研究会となった。

(2) 実技研修

5月16日(水) 授業で使える！(教科書の内容より) 研修部主催

- ・低学年での鑑賞授業 ・高学年での歌唱授業

7月11日(水) 指揮法研修会 講師：高山 俊哉 首席指導主事

- ・区児童音楽会にて指揮をする先生方も多数参加していただき、指揮の基礎からとても分かりやすく丁寧にご指導いただき、学びの多い研修となった。

8月20日(月) 鑑賞法指導研修会 講師：栗飯原 喜男 先生

- ・栗飯原先生による研修は今回で6年目となったが、今年は「木星」についてたっぷりのご指導いただいた。導入から活動を伴った鑑賞指導法、学習カードについてまで、とても細かに教えていただき、誰もがすぐに授業で使いたくなるものとなった。

12月12日(水) 卒業式に向けて(情報交換・歌・リコーダー)

- ・各校での昨年の取り組みをアンケート用紙に記入し、持ち寄った。情報交換だけでなく、実際に合唱曲を歌ったり、入退場に使えるようなリコーダー曲を演奏したりした。

(3) 実践提案

6月13日(水) 帷子小 保土ヶ谷小

1月16日(水) 上菅田小

6月の提案では、一斉授業研に向け、参考になるようにと音楽づくりの実践を提案していただいたり、器楽合奏の音源教材なども紹介していただいたりするだけでなく、いろいろなアイデアの情報交換をすることもできた。

(4) 区児童音楽会

11月15日(木) 保土ヶ谷公会堂

10校出演 笹山 上菅田 初音が丘 帷子 境木 星川 坂本 新井 仏向 峯

講師：瀬戸ヶ谷小学校校長 横張 由香子 先生

11月16日(金) 保土ヶ谷公会堂

10校出演 川島 岩崎 常盤台 藤塚 桜台 瀬戸ヶ谷 今井 上星川 権太坂 保土ヶ谷

講師：権太坂小学校校長 武田 浩美 先生

両日とも講師の先生から、丁寧で的確なご指導をしていただきました。それぞれの学校の良さを教えていただき、明日からの励みにもなりました。

5. まとめ

教科書教材を取り上げたり、行事についての情報交換を行ったりしながら、子ども一人ひとりが生き生きと学習できる指導法や支援の在り方について研究することができた。さらに外部講師を招き、楽しい鑑賞学習や指揮の仕方の基礎基本を学ぶことができ、授業や行事に役立てることができた。一斉授業研究会でも、指導案検討から授業当日まで参加してくださった先生方が熱心に討議してくださったので、とても実りあるものとなった。今年度の活動を来年度にもつなげていき、毎回の研究会が実りあるものとなるようにしていきたい。

旭区 音楽研究会研究部 活動報告

1 研究主題

「音楽性を育てる望ましい音楽学習」
～一人ひとりが生き生きと活動し豊かに表現できる音楽学習を目指して～

2 研究主題設定の理由

音楽の学習では、一人ひとりが表現や鑑賞の活動を通して、音楽の楽しさ・美しさを感じ取り、豊かな表現に向けて、自ら工夫し創り上げていこうとする気持ちを育てることが大切である。そのためには、子ども一人ひとりの音楽に対する思いや表現意欲を引き出し、子どもが生き生きと表現できる指導を工夫することが必要である。そこで、研修や研究を深め、指導法を探りながら主題に迫っていきたいと考える。

3 研究の進め方

- 実践提案をもとに、主題とその展開について研究討議を行う。
- 研究主題にかかわる内容の実践研修や講演会を通して、指導の工夫や支援のあり方を研修する。
- 音楽会を通して、子どもたちが生き生きと表現できる場を設け、合唱や合奏の指導力を高める。
- 研究広報により、研修の活動内容を部員が共通理解することで研究を深める。

4 研究方法

- (1) 実践提案による研修
- | | |
|--------|---------------|
| 5月16日 | 今宿南小学校、善部小学校 |
| 7月11日 | 鶴ヶ峰小学校、笹野台小学校 |
| 10月10日 | 中尾小学校、二俣川小学校 |

研究会のテーマ「一人ひとりが生き生きと活動し豊かに表現できる音楽学習」に迫るために、テーマに重点をおいて、主題とその展開について研究討議を行った。プリント資料を中心に、視聴覚機器により録音録画したもので捕捉しながら行い、子どもの事態に応じた研究討議ができ、具体的なアイデアや情報交換もできて役に立った。

(2) 実技研修

- | | | |
|-------|---------|------------------------|
| 6月13日 | リコーダー研修 | 講師：佐藤 創 先生 |
| 8月20日 | 授業づくり研修 | 講師：戸塚図書館長 長谷川 祐子先生 |
| 9月12日 | 音楽づくり研修 | 講師：つつじが丘小学校 校長 藤田 洋子先生 |

研修会では、リコーダーの導入や基礎的な技術指導や段階的な指導方法の他に、低学年の指導で大切にしたいことを、ポイントを押さえながら実際の授業での活動に役立つこと、音楽づくりでは、児童の実態に合わせて無理をさせず、活動してみて楽しかったという思いをもたせることができる指導の在り方についてご指導いただき、一人ひとりが生き生きと活動

し豊かに表現できる指導について学ぶことができた。児童の実態に応じた様々な対処法なども相談にのっていただき、充実した研修になった。

(3) 旭区児童音楽会

11月 2日(金) 8校 旭公会堂

東希望が丘小、白根小、上白根小、希望が丘小、都岡小、南本宿小、本宿小、笹野台小

講師：左近山小学校 校長 長谷川 利恵先生

11月 5日(月) 8校 旭公会堂

若葉台小、左近山小、中沢小、四季の森小、今宿小、さちが丘小、善部小、川井小

講師：東希望が丘小学校 校長 村上 雅基先生

11月 6日(火) 8校 旭公会堂

中尾小、不動丸小、上川井小、今宿南小、万騎が原小、市沢小、鶴ヶ峯小、二俣川小

講師：善部小学校 校長 小澤 紀子先生

講師の先生方より、それぞれの児童の良いところや、これから伸ばしていくことができる力についてお話いただきました。学校事情、児童の実態に応じた丁寧なご指導で励みになりました。

(4) 一斉授業研究会

1月16日 上川井小学校

授業者：平田 美紀 先生（2年1組）

馬場 真理子 先生（4年1組）

講師：左近山小学校 校長 長谷川 理恵先生、東希望が丘小学校 校長 村上 雅基先生

善部小学校 校長 小澤 紀子先生、四季の森小学校 校長 前田 周子先生

都岡小学校 校長 藤本 萌先生

研究討議では、活発な意見や感想等が出され、充実した研究討議会となった。講師の先生方からは、授業のいろいろな展開に応じた取り組み方や指導法を、具体的にご指導くださり、とても勉強になった。

5 まとめ

教科書教材を扱った実践提案による研究討議に力を入れることで、一人ひとりが生き生きと活動し豊かに表現できる指導法や支援の在り方に迫り、さまざまな取り組み方を身につけることができた。外部講師を招くことで、低・高学年それぞれに応じた、見落としがちな基礎的指導方の見直しができ、授業で取り入れることができた。一斉研究授業では、指導案検討に加えて、講師の方や研究部員同士で、授業の進め方や、授業者や児童の思いに寄り添った指導に向けた、意欲的な意見交換を繰り返して熱心に準備を進めていた。授業は児童が予想以上に意欲的に取り組み、そうしたことでさらにいろいろな授業展開に応じた指導のポイントなどを教えていただくことができ、実りある授業研究会となった。

平成30年度 磯子区音楽研究会活動報告

1 研究主題

「音楽の楽しさ美しさを感じ取り、豊かに表現する学習活動のあり方をさぐる」

2 研究主題について

子どもたちが協力して音楽をつくりあげたり、お互いのよさを認め合ったりできる活動や授業の工夫、美しいものを求める気持ちを育て、感動を生き生きと表現できるような指導法の研究を進めていきたい。

3 研究方法

- (1) 研究主題に沿った指導法の研究〈研究会〉
- (2) 指導技術向上のための実技研修〈研修会〉
- (3) 児童の活動を通じた研究〈区児童音楽会〉

4 研究の経過

月	日	会場	内容
4	11	杉田小	研究会の組織作り 年間計画の検討
5	16	杉田小	実践提案 提案：杉田小学校 木下 恭輔 先生
6	13	杉田小	区音楽会打ち合わせ①
7	11	磯子小	リコーダー指導研修 (講師：さわの里小学校校長 後藤 俊哉先生)
8	20	磯子小	指揮法実技研修 (講師：つづきの丘小学校校長 館 雅之先生)
9	12	さわの里小	歌唱研修(講師：杉田劇場館長、オペラ歌手) 指導案検討①
10	10	浜小	指導案検討② 区音楽会打ち合わせ②
11	14	浜小	区一斉授業研究会 (講師：南部学校教育事務所主任指導主事 今村 行道先生)
11	15 16	磯子公会堂	区児童音楽会 (講師：さわの里小学校校長 後藤 俊哉先生)
12	12	洋光台第三小	雅楽研修 (講師：真鍋尚之先生を中心とした雅楽の皆さん)
1	16	磯子小	歌唱指導研修 (講師：横浜国立大学教授)
2	20	磯子小	鑑賞指導研修(講師：横浜国立大学准教授) 年間反省 区音楽会反省

5 研究の成果と反省

【研修会・実践提案】

数多くの研修や実践提案を通して、研究主題を深めることができた。

① 実技研修会

7月には、リコーダー指導研修を行った。講師にさわの里小学校校長の後藤 俊哉先生をお迎えした。ソプラノリコーダー、アルトリコーダーを使って演奏しながら、リコーダーの持ち方やタンギングなどの指導法を学んだ。

8月には、指揮法研修を行った。講師はつづきの丘小学校校長の館 雅之先生にいらしていただいた。磯子区児童音楽会に向けて、音楽部員以外の先生方も参加された。指揮はただ拍子をとるだけではなく、表情や呼吸、音の流し方を工夫していくことが大切であると学んだ。

9月には、歌唱研修を行った。杉田劇場館長とオペラ歌手の方に講師としていらしていただいた。歌唱授業を参観したり、生の演奏を聴いたりした。

12月には、雅楽研修を行った。真鍋 尚之先生をお招きした。雅楽の楽器や演奏方法についての説明を聞き、実際に楽器にも触れさせていただいた。

1月には、歌唱指導研修を行った。講師に横浜国立大学教授をお迎えした。様々な歌唱指導方法を紹介していただいた。

2月には、鑑賞指導研修で、講師に横浜国立大学准教授を予定している。

② 実践提案

杉田小 木下 恭輔先生

- ・音楽づくりの提案。2年の「かえるの音あそび」の模擬授業形式で行った。学習カードや言葉かけの工夫、評価について学ぶことができた。
- ・合奏についての提案もあった。パート決めの仕方や、楽器の扱い方、打楽器のリズムの指導法など、すぐに授業に生かしたい取組を知ることができた。

【区児童音楽会】

例年通り磯子公会堂にて、二日間開催した（一日目午後、二日目午前・午後）。各学校、学年単位で、3年生か4年生が参加した。演奏内容は、歌唱とリコーダー奏が中心となった。

2日間ともさわの里小学校校長の後藤 俊哉先生に指導講評をいただいた。一校ずつ、歌詞の意味を考えることや、音の響きについてなど、お話を伺った。

【一斉授業研究会】

会場校 浜小学校

講師：南部学校教育事務所主任指導主事 今村 行道先生

- ・4年「思いや意図をもってまとまりを意識した音楽をつくろう」

授業者 佐藤 香織先生

- ・5年「曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、音色や響きに気を付けて演奏しよう」

授業者 瀬戸 牧先生 高橋 麻美先生

児童の思いを引き出し音楽としての表現につなげていく、素晴らしい授業だった。その後の研究協議会では、講師の先生から丁寧なご指導をいただき、充実した学びとなった。

平成 30 年度 金沢区音楽研究会活動報告

1 研究主題 音楽の楽しさ・美しさを感じとり一人ひとりが生き生きと表現する子どもを目指して

～子どもの主体的な学習を支える教師の支援のあり方～

2 主題設定の理由

一人ひとりが生き生きと表現する子どもを実現するためには、まず音楽の楽しさを味わい美しさを感じることが必要であり、自らが意欲的に取り組もうとする姿勢を育むことが大切である。そのためには、子ども一人ひとりの思いや願いを温かく受け止めるとともに、子どもが一人ひとりの良さを発揮し、ともに音楽活動をする喜びを共有できるように、適切な支援や指導をしたり学習内容や学習方法の工夫をしたりしていくことが大切であると考えこのテーマを設定した。

3 研究内容

<研究の進め方>

- ① 基礎基本の定着を図り、生き生きと表現できる学習の在り方について授業実践を通して研究する。
- ② 授業実践や実技研修を通して教師の支援のあり方を研究する。
- ③ 児童の演奏活動を通して望ましい音楽表現の在り方を研究する。

<研究活動の経過・内容>

月日	会場	活動内容
4月11日	八景小	年間活動計画立案、役員・研究組織の決定
5月16日		年間活動計画決定、金沢区小学校児童音楽会原案提案
6月13日		実践提案①釜利谷東小 込江緑先生 5年「リズムを選んでアンサンブル」 仕組みを提示したり制限をかけたりすることで、子どもたちが意図的に音を重ね、音楽づくりをしていくことができることが分かった。 実践提案②釜利谷南小 小林史佳先生 1年「音遊びをしよう」 年齢・実態に合わせて楽しく音楽づくりをする中で約束を提示し、拍の流れなどの共通事項にある力を獲得することができる。積み重ねの重要さも感じる事ができた。
7月11日		指揮法研修 金沢少年少女合唱団 平井保先生 区音楽会で指揮をふる先生にも声をかけ、多くの参加者が集まった。基本的な指揮の技法について丁寧に指導していただいた後、二人組で見合いながら指揮をした。また、実際に曲に合わせて指揮をして実践的に学ぶこともできた。
8月20日		音楽づくり研修 八景小 吉田百合子先生 実際に自分たちが子どもになりきって即興的な音楽づくりや 音を音楽へと構成する活動を体験し、ワークシートの工夫や授業の導入で簡単にできる音楽づくりなども教わった。

9月12日	高 舟 台 小	合唱指導法研修 並木第一小学校 副校長松崎百合子先生 高舟台小合唱クラブに協力していただき、講師が指導する場面を通して研修。言葉のイメージを具体的に持つ、発音の仕方等を教わった。後半は「wish」の曲を使って合唱指導のやり方について指導していただいた。
10月10日	八景小	実践提案③六浦小 城戸麻記子先生 4年「ミソラシレで旋律づくり～」 つくった旋律を運動会で使用するという子どもたちの意欲が高まる工夫があった。 中間発表でどこに注目して教師が支援するか、の視点を話し合うことができた。 実践提案④西金沢学園 吉岡美咲先生 4年 「打楽器の音色を生かして自分たちの音楽をつくろう」 打楽器の音色を生かして音楽をつくる時、子どもたちのイメージをどう共有し、それぞれのこだわりはどう折り合いをつけてつくるのかや、音楽づくりのルール等について話し合いを深めることができた。
11月1日 11月2日	磯子公 会堂	金沢区小学校児童音楽会（全4ステージ） 指導講評 南部学校教育事務所主任指導主事 今村行道先生 桜岡小学校 校長 高島典子先生 3・4年の歌唱や合奏、様々なパターンがあり良かったと御講評いただいた。 それぞれの学校がマナーを守り、互いの演奏を聴きあう良い機会になった。
11月14日	西富岡	指導案検討①(単元計画まで)
12月12日	西富岡	指導案検討②(本時展開を中心に)
1月16日	西富岡 小	一斉授業研究会 講師:さわの里小学校校長 後藤俊哉先生 1年「音を合わせて演奏しよう」黒岩猛美先生 3年「思いや意図をもってまとまりを意識した音楽をつくろう」 T1 有賀典子先生 T2 酒巻土志子先生 1年の学習では、正しい指使いを意識しながら鍵盤ハーモニカの演奏活動ができていた。3年生の学習では音楽づくりの仕組みの掲示物を見ながら試行錯誤して意欲的に取り組む姿が見られた。 協議会では、曲の特徴を捉えねらいを意識した教師の支援や意図的な声掛けで子どもたちの表現力を高めていくことができる、ということを学んだ。技能だけではなく、それよりも技能を通して音楽を愛する心情を高めていってほしいとご指導いただいた。
2月20日	八景小	年間反省・来年度に向けて・情報交換

4 研究の成果と課題

本年度も昨年度の要望を生かし、研究主題に沿って、様々な視点から研究を進めることができた。

実践提案や研修では、授業で使った掲示物・ワークシート等を持ち寄り、実際の授業場面を映像で見たり実技を通したりして学ぶことができた。必要感が高く参加者も多かった。またすぐに授業に生かせる具体的・実践的なものが多く大変参考になった。

一斉研に向けた取り組みとして、早めに授業者に領域を確認し、音楽づくりについて年間を通して学ぶ機会を多く持つことができた。指導案検討では教師が子ども役となって音楽づくりをして検討するなど、経験がまだ少ない教諭もイメージを持ちながら研究に意欲的に取り組むことができた。

来年度も部員の要望をもとに、活発な研修・充実した研究になるよう計画していく。

平成30年度港北区音楽研究部活動報告

1 研究主題

一人ひとりが生き生きと豊かに表現できる音楽学習をめざして

〔主題設定の理由〕

音楽学習において、子ども自身が音楽そのものに自ら働きかけ、学び取ろうとする主体的学習が、自己のものとして展開されていくとき、初めて生き生きとした楽しい学習が実現する。

そこで、子ども一人ひとりの音楽に対する思いや表現意欲を大切にし、創造的に生き生きと活動できるような支援の在り方を研究し、生涯にわたって音楽を愛好する心情と、音楽に対する豊かな感性の育成を願って本主題を設定した。

2 今年度の活動

月	日	曜日	会場	活 動 内 容
4	1 1	水	新田小	役員選出 役員分担 年間活動計画 研修計画
5	1 6	水	大綱小	研修①授業づくり・リコーダー指導研修 講師 つづきの丘小 校長 館 雅之先生
6	1 3	水	大綱小	区児童音楽会実施計画
7	1 1	水	師岡小	一斉授業研究会 指導案検討①
8	2 0	金	大綱小	研修②指揮法研修 講師 新田小 校長 高橋 実先生
9	1 2	水	師岡小	一斉授業研究会 指導案検討②
10	1 0	水	大豆戸小	区児童音楽会係打ち合わせ 一斉授業研究会 指導案検討③
11	7	水	区公会堂	港北区児童音楽会 （午後3日間）
	8	木		
	9	金		
	2 1	水	師岡小	一斉授業研究会
12	1 2	水	大綱小	情報交換（卒業式・音楽会・音楽集会等）
1	1 6	水	大綱小	実践提案 区音楽会反省
2	2 0	水	大綱小	1年間の反省及び次年度活動計画作成

3 研究の成果と反省

(1) 研修・研究について

< 5 月 研修① 館 雅之先生 >

- ・リコーダー指導研修

< 8 月 研修③指揮法 高橋 実先生 >

- ・指揮の基本
- ・実技演習（教科書の曲から）

< 7 月 実践提案 新吉田第二小 >

4 年担任 五艘沙織教諭

総合的な学習の時間 「わたしのしあわせ みんなのしあわせ」

- ・指導DVD視聴

音楽専科 岩本 育代教諭

音楽 楽しさに気づいて聴こう「打楽器パーティ」

- ・指導CD視聴
- ・板書計画

(2) 児童音楽会について

- ・区芸術祭の一つとしての行事であるため、保護者も観覧できるようにしている。多くの保護者が観覧できるようにプログラムを前半と後半に分け、入れ替え制をとっている。各学校から事前に提出された保護者名簿と、保護者のチケットとを照合し、入場していただいている。また、公会堂を全館貸し切りにしていただき、安全管理について万全を期している。
- ・昨年度に引き続き、今年度も前半終了後、保護者入れ替えの時に、音楽会の雰囲気損なわれないように、音楽研究会部員でリコーダー奏を行った。

(3) 区授業研究会について

今年度は指導案検討を3回行ったことで充実した研究会を行うことができた。年度初めには授業者が、共通の学習の主題を提示し、年間の研究・研修を生かした充実した授業となった。研究授業後の討議も今までの研究経過をふまえた活発なものとなった。豊かな学びを保証する授業のよい検証の機会となった。

師岡小学校

第3学年	西田 知佐教諭	主題「曲想にふさわしい表現を工夫して歌おう」 中心教材「ふじ山」
第6学年	佐藤由芙子教諭	主題「曲想を生かした表現を工夫して歌おう」 中心教材「ふるさと」

緑区音楽研究会 平成30年度活動報告

1. 研究主題

「音楽の楽しさ、美しさを感じ取り、
自分らしく表現しようとする子を育てる学習指導のあり方」
～一人ひとりが生き生きと表現する力を伸ばすための支援のあり方をさぐる～

2. 主題設定の理由

音楽学習においては、こども一人ひとりが表現や鑑賞の活動を通して音楽の楽しさ、美しさを感じ取り、よりよい表現に向けて自ら工夫し創り上げていくことが大切である。こども一人ひとりの思いや願いによる表現は、それぞれ異なり多様である。その思いや願いを大切に、自分の音楽表現を楽しむ喜びを味わえるようにするためには、教師の適切な支援が求められるようになってくる。

そこで、研修や情報交換を通して教師自身の資質を高めるとともに、指導法を検討しあい、教育課程の実践に向けて研究を進めていきたいと考える。

3. 年間活動計画

月 日	活動内容	会場	司会	音楽	記録
4月11日	年間活動計画・活動組織について				
5月16日	指導法研究【情報交換】 教育芸術社 長谷部 匡俊先生	中山	三保		鴨居
6月13日	指導法研究（実践提案）1回目 【三保小】【東本郷小】	中山	十日市場	十日市場	鴨居
7月11日	指導法研究（実技研修 音楽づくり） 講師：つつじが丘小校長 藤田洋子先生	中山			山下みどり 台
8月17日	指導法研究（実技研修 指揮法） 講師：高田東小校長 館 雅之 先生	中山	十日市場		山下みどり 台
9月12日	〇区児童音楽会運営について①	中山	三保	三保	長津田
10月10日	〇指導法研究（実践提案）1回目 【三保小】【東本郷小】 〇区児童音楽会運営について②	中山	三保	中山	長津田
11月14日 15日・16日	緑区児童音楽会 1日目（善部小校長 小澤 紀子先生） 2日目（東希望ヶ丘小校長 村上 雅基先生） 3日目（東希望ヶ丘小校長 村上 雅基先生）	みどり アートパーク			
11月21日	〇区一斉授業研（指導案検討②）	長津田第二	高 山下 低 中山		高 緑 低 上山
12月12日	〇区一斉授業研（指導案検討②）	長津田第二	高 中山 低 山下		高 緑 低 上山
1月16日	区一斉授業研究会区一斉授業研長津田第二小 講師：小机小学校長 田代 千佳子先生	長津田第二	全体 山下 高 中山 低 山下		全体 緑 高 緑 低 上山
2月11日	年間のまとめと反省、次年度役員選出	中山	長津田	長津田	緑

<緑区一斉授業研授業校>

H31年度（竹山） H32年度（十日市場） H33年度（中山） H34年度（山下）

○実技研修（音楽づくり）について 講師：藤田 洋子先生

昨年度の低学年での音楽づくりの研修に引き続き、本年度は中～高学年にかけての音楽づくりについて教えていただいた。教科書は「音を選ぶ」「既習のリズムを使う」ことで、どの子も安心して音楽づくりに取り組めるようになっているため、それを活用した流れを意識する。

3年生 3年生から「五線譜に書く」ことが盛り込まれている。音を選べばよいつくりになっているので、書くことへの抵抗と時間数を減らすことにつながっていると教えていただいた。

5年生 5年生からは音楽の仕組み（反復・問いと答え・変化）を考えることになっている。教科書には音の上がり下がりの例が描かれているが、これは児童へ作る音楽の見通しをもたせるためである。見通しをもつということは、児童が思いを表すことに繋がるので、見通しをもちやすい授業づくりを心掛けていく。終わりの音を指定するのも、見通しがもちやすく、音を選びやすい。また、3～5年生では日本の音階を使うが、日本の音階なら、隣の音を選んでいけば間違いない。

研修では5年生の音楽づくりを部員がグループに分かれて実際につくってみることで、見通しをもたせることの大切さを改めて実感する研修となった。

○実技研修（指揮法）について 講師：館 雅之先生

区音楽会に向けて、出演する先生方の参加を募り、実際に各校が区音楽会で演奏する曲を使って曲の解釈の仕方や基本的な棒の振り方、指揮者の心構えなどをわかりやすく、具体的にご指導いただいた。指揮者や曲の特徴に合わせて、指揮のポイントだけでなく、どのような練習をしたら良いかまで指導していただき、音楽会の演奏につながる充実した研修となった。

○児童音楽会について 11月14日（水）・15日（木）・16日（金）

出場学年は、3年生または4年生だった。会場が音楽ホールということもあり、豊かなひびきを感じながら、日頃の練習の成果を十分に発揮することができた。また限られた練習期間の中で各校とも表現方法に工夫を凝らし、鑑賞の観点からもよい音楽会となった。

会場があまり大きくないことから、1日に5～6校の発表となり、3日間開催で行ったが、役員の数が足りず、仕事分担が課題と感じた。

○区一斉授業研究会について 講師：田代 千佳子先生 会場校 長津田第二小学校

＜3年＞「互いの音を聴き、音を合わせて演奏しよう」 授業者：樋口 早希教諭

中心教材：「パフ」

＜5年＞「全体の響きを聴き、声を合わせて歌おう」 授業者：平嶋 かず江教諭

中心教材：「BELIEVE」

- ・学年の実態と照らし合わせたとき、教材の難易度が適切ではないのでは、という点が話題になった。⇒自分が表現できると思えるような環境づくりの一環として、児童の技能に合ったレベルの教材を用意する。
- ・音楽の時間に児童一人ひとりがのびのびと表現するためには、児童が周囲の児童に気兼ねなく表現できる環境が必要である。⇒学級経営がうまくいっていることが大切。
- ・つながりを考えて歌えることの良さを評価していきたい。
- ・音楽集会など、合同で音楽を行う時間を大切にしてほしい。⇒きれいに演奏ができる上級生とともに歌うことで下級生もよい発声法を学び、表現技能が磨かれていく。学校としての音楽への取り組みにもなる。

4. 研究の成果と課題

今年度も昨年の反省、部員の要望などをもとに、年間計画を立て実技研修や実践提案を行った。研修をするための予算の確保は難しいが、どの研修も大変役に立ったという声が寄せられ、来年度以降も続けられるようにしていきたい。また、11月の一斉授業研究会では、指導案検討であがった疑問を各校持ち帰り、実際にそれぞれの部員が授業をすることで課題解決を行った。来年度に向けて、さらに工夫した研修を企画し、具体的な指導法を高めながら授業に生かせるようにしていきたい。

平成30年度 青葉区音楽研究部 活動報告

1, 研究主題

音楽を愛好する心情を育てる学習活動

～一人一人が生き生きと表現できる音楽学習をめざして～

2, 主題設定の理由

音楽科では、表現および鑑賞の活動を通して、音楽性の基礎を培うとともに音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、豊かな情操を養うことを目標としている。そのために、音楽学習に興味、関心を持ち、児童が意欲的に取り組もうとする学習活動が、展開されなければならない。児童の個を生かし、創造的で主体的な学習活動を展開するには、児童一人一人が音楽の楽しさや美しさを感じ取り、心の中に芽生えた感動を生き生きと表現できるための場の設定や教材教具の工夫、効果的な教師の支援が必要になってくると思われる。「自ら生き生きと表現する児童」の育成をめざして、多方面にわたる研修や研究を深め、指導法を探りながら主題に迫って行きたいと考える。

3, 研究方法 実技研修 主題研修 授業研究会 児童音楽会

4, 研究の経過及び内容

4月11日	年間活動計画（研究主題の設定、活動計画、組織作り）	於みたけ台小
5月16日	指導技術研修会「リコーダー研修」 講師 北村正彦先生	於みたけ台小
6月13日	主題研修・実践提案	於つつじが丘小
7月11日	区一斉授業研指導案検討 ①	於鉄小
8月20日	区児童音楽会行事企画会 職員合奏曲「もみじ」練習	於あざみ野第二小
9月12日	実技研修「指揮法の基礎」 講師 平井保先生	於みたけ台小
10月10日	区一斉授業研指導案検討 ②	於鉄小
11月13日	青葉区小学校児童音楽会第一日 講師 藤馬直子先生（あざみ野第一小校長）	於青葉公会堂
11月14日	青葉区小学校児童音楽会第二日 講師 影井靖子先生（谷本小校長） 小倉早苗先生（鴨志田緑小校長）	於青葉公会堂
11月15日	青葉区小学校児童音楽会第三日 講師 藤田洋子先生（つつじが丘小学校校長）	於青葉公会堂
11月16日	青葉区小学校児童音楽会第四日 講師 藤馬直子先生（あざみ野第一小校長）	於青葉公会堂
12月12日	区一斉授業研指導案検討 ③ 区児童音楽会反省	於鉄小
1月16日	青葉区公開一斉授業研究会 3年・5年 館紀子・網野菜々紗先生「曲想を生かした表現を工夫して演奏しよう」 講師 小倉早苗先生（鴨志田緑小校長） 講師 影井靖子先生（谷本小校長） 講師 藤田洋子先生（つつじが丘小校長）	於鉄小
2月20日	一年間の研究活動の反省	於みたけ台小

5、児童音楽会について

青葉区は学校数が31校あるため、4日間の開催で一日あたり7～8校の出演となっている。そのため、時間、座席ともにゆとりを持って運営することができた。3、4年生中心の出演となったが、子どもたちは演奏すると同時に他校の演奏を聴くことも楽しめたようだ。指揮法の事前研修が当日の演奏に生かされ成果がみられた。また、行事部の役割分担を明確にして運営したが、役員の動きがよく、音楽会全体の運営も大変スムーズに行われた。鑑賞態度も全体的によく、会場全体にほのよい緊張感のあるよい児童音楽会であった。

* 歌唱について

- ・ 自然で無理のない声で口をよく開けて歌わせる。簡単なフレーズを高音から下げて歌うと良い。
- ・ 選曲も、「ラ」から始まる曲や高音が多い曲だと頭声が出しやすい。

* 器楽について

- ・ 歌詞唱や階名唱をしてからリコーダーの練習をすると腹筋、お腹の支えについて器楽でも意識することができる。運指やタンギングの習得は積み重ねが大切。

* その他

- ・ 音楽専科が低学年の音楽の授業にも関わっていくと中学年からの授業や音楽会の指導もスムーズにできる。専科が進んで学校の音楽運営をしていけると良い。
- ・ 音楽会では4年生が3年生のよい手本になり、雰囲気づくりをしている。

4日間にわたる音楽会であったが、学年や学校の多くの職員の方々の協力のおかげで無事行えた。

6、青葉区一斉授業研究会について

授業校の鉄小は単級のため3年生・5年生の合同で「曲想にふさわしい表現を工夫して演奏しよう」の主題で、「エーデルワイス」を中心教材にしたT1・T2のリコーダーの授業が行われた。3人の世話人校長先生方に講師にむかえ、グループ討議や全体会において充実した話し合いがされた。

3年生は、一人ひとりが曲についての思いをもち、息・タンギング・運指等、具体的な工夫と結び付けて演奏しているか、5年生は、旋律の特徴を一人ひとりがとらえて、曲想を生かすための表現の工夫をしているか、全体では、2学年合同の学習の効果はあったかという授業の視点に基づいてグループ討議がなされた。異学年で同主題の学習で学びに向かうという協働の学習にチャレンジする新しい提案は、今後各学校で実践に生かすことができる貴重な機会となった。音楽専科と担任の先生との連携も素晴らしく、グループでは3年生のソプラノリコーダーと5年生のアルトリコーダーの音色が響き合い、生き生きと表現する様子がみられた。

7、研究のまとめと今後の課題

実技研修、指導技術研修、主題研究を通して、一人ひとりが生き生きと表現するための効果的な学習活動のあり方やその展開について研究を進めることができた。今年度青葉区は4人の世話人校長先生が研修や区の音楽会、区授業研の講師も務めてくださり大変充実した研修をもつことができた。リコーダー研修、指揮法研修では、素晴らしい講師の先生にご指導いただき、実践を通じた充実した研修を行うことができた。

今後は、経験の少ない音楽専科や音楽部員のために意図的計画的に「音楽科経営」や「基本的な授業の進め方」などの研修や情報交換の場を多く設定し、だれもが安心して授業に臨めるよう支援していきたい。さらに、児童一人ひとりが、音楽の楽しさや美しさを感じ取り、心の中の感動をさまざまな方法で表現できるように、研究を深めていきたい。

平成30年度 都筑区音楽研究会 活動報告

1 研究主題

「音楽の楽しさや喜びを味わい自分の思いを豊かに表現する子どもを育てる学習のあり方」

2 主題設定の理由

音楽科教育は音楽を豊かに表現する心情と音楽に対する感性を育て、音楽活動の基礎基本を培うことを通して豊かな人間性を養うことをねらいとしています。友達と一緒に音楽をつくりあげることを楽しみと感じ、自ら思いや意図をもって豊かに表現しようとする子どもの育成をねらい、このテーマを設定しました。

3 研究内容

- | | |
|--------------------|----------------------|
| (1) 授業研究による研究 | 実践提案・区一斉授業研究会（山田小学校） |
| (2) 実技研修による指導技術の研究 | 実技研修 |
| (3) 児童の活動を通じた研究 | 区児童音楽会 |

4 研究活動

- | | |
|--|----------|
| 4/11 (水) 研究活動組織・研究主題・年間計画について | 川和東小学校 |
| 5/16 (水) 都筑区児童音楽会要項説明
職員合奏「小さな世界」担当楽器決め | 川和東小学校 |
| 6/13 (水) 研修 リコーダー研修
講師：つづきの丘小学校 校長 館 雅之先生 | 川和東小学校 |
| 7/11 (水) 研修 鑑賞研修
講師：つづきの丘小学校 校長 館 雅之先生 | つづきの丘小学校 |
| 8/20 (月) 研修 指揮法研修
講師：新羽小学校 副校長 小野 明美先生 | 川和東小学校 |
| 9/12 (水) 研究会 実践提案 区一斉授業研究会に向けて
荏田小学校 松崎さとみ先生（1年生） | 川和東小学校 |
| 10/10 (水) 研究会 実践提案 区一斉授業研究会に向けて
勝田小学校 斎藤 陽子先生（5年生） | 川和東小学校 |
| 11/15 (木) 都筑区児童音楽会第一日目
講師：鴨志田緑小学校 校長 小倉 早苗先生 | 都筑公会堂 |
| 11/16 (金) 都筑区児童音楽会第二日目
講師：つづきの丘小学校 校長 館 雅之先生 | 都筑公会堂 |
| 11/28 (水) 研究会 区一斉授業研究会 指導案検討① | 山田小学校 |
| 12/12 (水) 研究会 区一斉授業研究会 指導案検討② プレ授業 | 山田小学校 |
| 1/16 (水) 都筑区一斉授業研究会
田中 李奈先生（1年生）
赤津 希 先生（5年生）
講師：北部学校教育事務所 主任指導主事 大幸 麻理先生
つづきの丘小学校 校長 館 雅之先生 | 山田小学校 |
| 2/20 (水) 今年度の反省・卒業式の情報交換 | 川和東小学校 |

5 研究・研修の概要

- 6/13 (水) 研修 リコーダー指導研修 講師：つづきの丘小学校 校長 館 雅之先生
- リコーダー指導研修では、アルトリコーダーの左手の運指で多様な活動を広げたり、常時活動で扱えるレパートリーを増やしたりする方法を教えてくださいました。また、歌唱活動でのリコーダーの活用、分野間の関連などについても研修しました。

7／12（水）研修 鑑賞研修 **講師：つづきの丘小学校 校長 館 雅之先生**

○「これからの鑑賞の授業づくり」音楽科の目標に立ち返り、あらためて現行の指導要領と新指導要領のつながりや評価についてご指導いただきました。指導と評価が一体となった授業展開、指導に生かす評価、記録に残す評価について研修しました。

8／20（月）研修 指揮法研修 **講師：新羽小学校 副校長 小野 明美先生**

○都筑区児童音楽会の前に、他の教科部会からも音楽会当日の指揮者となる先生方が集まり、「音楽会での指揮」について登壇～降壇までご指導いただきました。さらに何校か希望の学校が、実際の発表曲を用いて指揮の仕方を指導していただきました。

9／12（水）実践提案① 区一斉授業研究会に向けて

荏田小学校 松崎さとみ先生

○1年生「音楽の仕組みを生かし、簡単な音楽をつくろう」で、『ほしぞらの様子』の音楽づくりにずっとトライアングルを使い組みました。工夫を考えるためのグループの人数、楽器を絞ったことの良さが話題となり、有意義な提案となりました。

10／10（水）実践提案② 区一斉授業研究会に向けて

勝田小学校 斎藤 陽子先生

○5年生「全体の響きを聴き、音を合わせて演奏しよう」で、『威風堂々 第1番』のリコーダー合奏に取り組みました。楽譜の選び方、パートの分け方、その主題での活動内容など、授業のイメージを持ちながら話し合いをすることができました。

11／28（水）都筑区一斉授業研究会 指導案検討①

○授業の大まかな流れをつかみ、よりよい授業になるようにアドバイスをしました。指導案中の指導計画と評価のつながり等を確認し、共通事項など本時で気付かせたいポイントや本時の活動をする場の設定などを明確にすることができました。

12／12（水）都筑区一斉授業研究会 指導案検討②プレ授業

○授業者の先生にプレ授業をしていただき、部員が子どもになって発問に答えたり、活動したりすることによって、発問を吟味したり、場の設定（集中した活動ができるか、聴き合うことができるか）などを考えたりしました。授業者は曖昧だったところが改善され、部員は授業を見る視点が明確になりました。

1／16（水）都筑区一斉授業研究会

○1年生「音楽の仕組みを生かし、簡単な音楽をつくろう」、5年生「全体の響きを聴き、音を合わせて演奏しよう」の授業が公開されました。プレ授業の視点がそれぞれ生かされた授業で、1年生は、動画の時間の流れに合わせて、夕方・夜中・朝方の『ほしぞらの音楽』を意欲的につくる姿が印象的でした。5年生はリコーダーの音色を意識しながら『威風堂々 第1番』を心を一つに合奏しようとする姿がたくさん見られました。新学習指導要領の評価の話にもふれながら、講師の先生の助言で授業を振り返ることができ、有意義な授業研究会となりました。

6 研究のまとめ

教師自らの豊かな感性と表現力を高めるため、今年度はリコーダー指導研修、鑑賞研修、指揮法研修を行いました。短い時間ではありましたが、それぞれの分野のエッセンスを学ぶことができたのは大きな収穫でした。また、区の一斉授業研に向けての実践提案が年々充実したものになり、指導案検討の時に授業のイメージをもって、話し合いが進められるようになりました。

都筑区児童音楽会や一斉授業研究会では、生き生きと意欲的に演奏する子どもたちの姿が見られ、日頃の研修や研究の成果が生かされているのを感じ取ることができました。

平成30年度 戸塚区音楽研究会 活動報告

1 研究主題「音楽の美しさ・楽しさを感じ取る心を育てる学習活動」

～一人ひとりが自分のめあてをもち、

創造的で生き生きと表現できる音楽学習のあり方～

2 音楽科の主題について

音楽の学習にとって基本的に重要なことは、子どもたちが自分なりのめあてをもち、よりよい音楽を求めて、自ら工夫して表現しようとする意欲をもつこと、一人ひとりが豊かな感性や創造性を積極的に発揮し、主体的に音楽を楽しみ、創造していくことのできる資質や能力を獲得することである。

そのためには、児童一人ひとりの実態や特質を十分把握した上で、創造的で主体的な学習活動が行えるような指導の工夫を図ることが大切である。

そこで、本研究会では、児童一人ひとりがめあてをもち、主体的に生き生きと表現できる音楽学習の実現をめざして本主題を設定した。

3 研究内容・方法

- ・研究組織作成
- ・年間活動計画作成
- ・提案を通しての研究会
- ・講師の先生による実技研修会
- ・区児童音楽会の開催
- ・区一斉授業研究会事前研究会と区一斉授業研究会
- ・年間活動の反省 来年度に向けて 情報交換

4 活動日程と内容

4月11日（研究） 東戸塚小学校

- ・研究組織・研究主題の作成・年間活動計画立案

5月16日（研修） 講師 戸塚小学校 副校長 澁田美穂先生 戸塚小学校

- ・1月の一斉授業研究会に向けて、戸塚小学校副校長の澁田美穂先生にお越し頂き器楽合奏について研修を行った。低学年の鍵盤ハーモニカの導入から、リズム楽器、リコーダー、木琴、鉄琴などの扱い方や指導法を、実技研修を通して学んだ。器楽合奏を通してどのような子どもを育てたいか教師がイメージをもち、そのための具体的な手だてを考えることが大切であるということを学ぶことができた。

6月13日（行事）区児童音楽会実施計画提案

川上北小学校

- ・音楽会へ向けての日程、係仕事内容などを確認した。

7月11日（研修） **講師** 川上小学校 神山 恭先生 **川上小学校**

- ・川上小学校の特別合唱クラブの協力で合唱練習の見学を行った。子ども達は一人ひとりが楽しそうに声を響かせようとする意識を持ちながら歌っていた。講師の神山先生からは「出発」を使い歌詞やリズムの難しいところの歌い方などを教えて頂くことができた。

8月20日（研修） **講師** さわの里小学校 校長 後藤俊哉先生 **川上北小学校**

- ・昨年度に引き続き後藤俊哉先生をお招きして指揮法研修を行った。区音楽会の選曲に沿ったアドバイスを頂くことができた。

9月12日（研究） **実践提案** **川上北小学校**

- ・一斉授業研究会に向けて実践提案を行った。
鳥が丘小 柄澤光葉先生 「楽器の音を合わせて演奏しよう」
平戸台小 金崎直子先生 「思いや意図をもってまとまりを意識した音楽をつくろう」

10月10日（行事） **区音楽会打ち合わせ** **川上北小学校**

- ・区の音楽会の係ごとの最終打ち合わせと、児童の動線の確認、職員合奏の練習を行った。

10月30・31日 11月1日（行事） **戸塚区児童音楽会**

- ・講師 今村行道先生 （南部学校教育事務所主任指導主事）
館 雅之先生（つづきの丘小学校校長）
後藤俊哉先生（さわの里小学校校長）
・講師の先生からからはきめ細やかなご指導を頂き、明日の授業へつながるよい研修の場となった。

11月14日（研究） **一斉授業研究会指導案検討①** **東品濃小学校**

12月12日（研究） **一斉授業研究会指導案検討②** **東品濃小学校**

1月 16日（研究） **戸塚区一斉授業研究会** **東品濃小学校**

講師 桜岡小学校 校長 高島典子先生

授業者 重野 萌先生 2年生

「楽器の音を合わせて演奏しよう」 中心教材「こぐまの二月」

谷石 瑞子先生 5年生

「音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくろう」

～日本の音階を生かして音楽をつくろう～

- ・研究協議では、活発に意見・感想等が出され充実した研究協議会になった。講師の先生からは授業を通して、丁寧なご指導をいただき、とても勉強になった。

2月20日 **年度末反省** **川上北小学校**

5 まとめ

今年度も児童一人ひとりが自分のめあてをもち、生き生きと表現するためにはどのような学習活動・学習形態が望ましいのか、また児童の主体的な学習活動を支える支援のあり方等を研修・授業研究を通して進めていくことができた。来年度に向けて創造的で主体的な学習活動が行えるような指導の工夫を図ることをめざした研究、研修を進めていくとともに、活発な情報交換の場を提供し、活動を充実させたい。

平成30年度 栄区小学校音楽教育研究会年間活動報告

1. 研究主題

音楽の美しさ、楽しさを感じ取り、生き生きと表現する子を育てる指導の在り方
～ しっかり引き出す指導をめざして ～

2. 主題設定の理由

音楽の学習では、音楽に興味・関心をもち、進んで活動しようとする子どもを育てることが大切である。そのためには、子どもの音楽的な感受を大切にしたい指導や、子ども一人一人の音楽に対する思いや表現意欲を引き出し、児童が生き生きと表現できるような指導を工夫することが大切である。

そこで、本研究会では、音楽的な感受を大切にしながら、児童が意欲的に音楽活動に取り組むことをねらいとし、上記の主題を設定した。

3. 研究経過と内容

○ 4月11日(水) 本郷台小学校

◇ 研究主題、研究組織、年間計画概要の決定

○ 5月16日(水) 本郷台小学校

◇ 研修会 「授業に活かせる合奏指導」

＜講師＞菊名小学校副校長 板橋 典子 先生

器楽合奏の指導について、実際に演奏をしながら研修していただいた。打楽器の指導は日頃の積み重ねであること、マナーやルールが大切であること、基本はしっかりと教えその上で子どもの創意工夫を促すことなどを学ぶことができた。先生自身が楽しむことが楽しい授業をする第一歩ということで、研修も楽しく進めていった。

○ 6月13日(水) 本郷台小学校

◇ 研修会「箏の演奏法」

＜講師＞栄区三曲協会 角田 操子先生

三曲協会の先生が6名ほど来て、箏の演奏法を各自教えていただいた。箏もお持ちいただいたため、2名に1台ほどあった。山田流と生田流の違いや箏の部分の名前、座り方、爪の付け方など基礎から教えていただくことができた。課題曲の「さくらさくら」を先生の伴奏に合わせて演奏した。また、先生方の演奏も間近で聴くことができ、大変勉強になった。

○ 7月11日(水) 本郷台小学校

◇ 実践提案＜小山台小学校＞ ＜小菅ヶ谷小学校＞

◇ 情報交換①

小山台小学校2年「曲の楽しさに気づいて聴こう」小菅ヶ谷小学校6年「曲の特徴を感じ取って聴こう」の主題をもとに実践提案があった。小山台小は、「トルコ行進曲」の鑑賞で、ICT機器を活用した授業を提案した。鑑賞で使用する楽曲の編集に使うソフトの情報交換や、スキャナを使った掲示資料の作成などを中心に意見交換した。小菅ヶ谷小は、「木星」の鑑賞を提案した。導入でリトルグリーモンスターの「Jupiter」を聴くなどの子どもの興味を引き工夫や、ワークシートの供養の仕方などを中心に意見交換した。

情報交換では、楽器の在庫を一覧にし、必要な楽器が自分の学校がない場合には貸し出すことができるようにした。また、リコーダーの導入時期とメーカー、値段を一覧にして、情報共有した。

○ 8月20日(水) 本郷台小学校

◇ 研修会 「指揮法」

＜講師＞戸塚小学校副校長 澁田 美穂先生

二拍子・三拍子・四拍子の基本的な指揮の方法を教えていただいた。その後、各校から出された実際に音楽会で歌う歌を当日指揮する先生が振り、直接指導していただいた。二部に分かれたところの振り方や、アウフタクトの振り方、器楽曲と歌唱曲の指揮の振り方の違いなど、他の曲にも活用できるような指揮法を中心に教えていただいた。

○ 9月12日(水) 本郷台小学校

◇ 栄区音楽会 係打ち合わせ①

◇ 一斉授業研究会指導案検討①(上郷小学校)

1年生の「シンコペーテッドクロック」の鑑賞の指導案検討では、指導事項を絞った方がよいことや、

他の学校での授業の工夫などについて話した。

6年生の「木星」の鑑賞の指導案検討では、どこまで掘り下げて聴くかについて話し合った。楽曲構成について学習したいが、聴き取りではなく鑑賞であることについてたくさんの意見が活発に出た検討になった。

○ 10月10日(水) 本郷台小学校

◇ 栄区音楽会 係打ち合わせ②

◇ 一斉授業研究会指導案検討②

音楽会の係ごとに分かれ、前年度から引き継いだファイルをもとに、当日の仕事の打ち合わせを行った。その際、ファイルが紛失している係があったため、今年度の情報をしっかり引き継げるように確認した。

前回行った指導案検討をもとに変更した点について話し合った。また、講師の先生から指導していただいた点についても紹介し、共通理解を図った。

○ 11月15日(木)午後 16日(金)午前・午後 栄公会堂

◇ 栄区小学校児童音楽会

<講師> つづきの丘小学校校長 舘 雅之 先生

南部学校教育事務所 主任指導主事 今村 行道 先生

今年度より保護者の鑑賞をなくしたため、大変スムーズに行うことができた。

<リコーダー奏>

- ・右手は早い時期から親指を後ろの位置に置くようにした方がよい
- ・歌っているときのリコーダーの持ち方の指導も大切。楽器を大事にする気持ちを養うことができる。

<歌唱>

- ・声を上から下げてくるような指導で、うまくいったときに「その声」と声かけるとよい。
- ・体の動きを入れると、解放されて声も解放される。

<指揮・選曲>

- ・一息ついてからお辞儀をしたり、子どもと一緒に息を吸ったりするとよい。
- ・楽譜通りではなく、実態に合わせたアレンジを行ってもよい。

○ 11月21日(水) 上郷小学校

◇ 一斉授業研究会

1年生の「シンコペーテッドクロック」では、実物や実際の音を見せたり聴かせたりする効果や、板書の工夫や付箋を活用することなどが話題にあがった。

6年生の「木星」では、児童の実態を的確にとらえることの重要性や、楽譜の提示についてなどが話題にあがった。どちらも素晴らしい授業で、大変勉強になった。

○ 12月12日(水) 本郷台小学校

◇ 実践提案②<公田小学校><桂台小学校>

◇ 音楽会反省

<公田小>「音遊びをしよう」 いろいろな学校の実践例を紹介し合い、共有した。

<桂台小>「曲の特徴に気づいて聴こう」楽曲の編集することができるソフトを紹介し合い、共有した。

○ 1月16日(水) 本郷台小学校

◇ 情報交換②「卒業式のうた」各校で歌っている卒業式のうたを紹介し合い、全員で歌った。

○ 2月13日(水) 本郷台小学校

◇ 年間活動の反省 来年度に向けて 情報交換

4 研究のまとめと今後の課題

部員の希望を聞きながら様々な実技研修会や情報交換などに取り組み、一人一人が意欲的に取り組む音楽学習について研究を深めることができた。また、一斉研では、低学年、高学年のどちらも全員で指導案検討を行い、どの人も授業について頭に入った状態で参加することができたため、活発な議論が行われ研究を深めることができた。

来年度は、さらに充実した研究ができるよう、教材研究や指導法、支援、評価などの視点から、研究主題に迫る取り組みをしていきたい。

平成30年度 泉区音楽研究会活動報告

1 研究主題

「音楽の楽しさ・美しさを感じ取り、豊かに表現しようとする子どもの育成」
～基礎、基本の定着を図り、生き生きと表現できる音楽学習のあり方～

2 主題設定の理由

音楽学習では、一人ひとりが表現や鑑賞の活動を通して、音楽の楽しさ、美しさを感じ取り、よりよい表現に向けて自ら工夫し創り上げていこうとする気持ちを育てることが大切である。そこで、音楽表現を楽しむ喜びが味わえるよう、基礎、基本の定着を図り、児童一人ひとりの思いや願いを大切にしたい支援や、学習内容、活動の工夫を追求しなくてはならないと考える。一人ひとりが生き生きと表現できる音楽学習の実現をめざして本主題を設定した。

3 研究内容

研究の視点（指導案に位置づけたい）

①学び合いを通して表現する力を伸ばす

②子どもの表現に必要な知識、技能を身に付けられるようにする支援のあり方

一人ひとりの子ども達が音楽の楽しさ、美しさを感じ取り、よりよい表現に向けて自ら工夫し創り上げていこうとする意欲を育てるためには、学び合いを通して友だちの表現のよさを見つけることが大切である。その中で子ども達のよりよい表現をしようとする意欲が高まるからである。また、子ども達が意欲をもって表現できるためには、基礎的、基本的な知識、技能がしっかり身につけていなければならない。どの児童も、基礎的、基本的な知識、技能をしっかりと身につくよう、支援のあり方を工夫していく必要がある。以上の理由から本年度二つの視点を設定した。

4 年間活動報告

4月11日（水） 年間計画・組織作り

5月16日（水） **研修Ⅰ** ＜音楽づくり領域＞ 講師：天野直美先生（東中田小学校校長）

6月13日（水） **実践提案①**

提案者 緑園西小学校 遠藤るみ子先生

主題：「曲に合った美しい音色で楽器を演奏しよう」～陽気な船長～（4年生）

7月11日（水） **実践提案②**

提案者 中和田南小学校 広崎 優香 先生

主題：「全体の響きを聴いて歌おう」～いつでもあの海は～（5年生）

8月20日（月） **研修Ⅱ** ＜諸外国の音楽＞ 講師：長谷川 真澄 先生（江東区立川南小学校）

「諸外国の音楽」を活用した音楽科授業

9月12日（水） 一斉研指導案検討（1回目・岡津小学校）

10月10日（水） 一斉研指導案検討（2回目・岡津小学校）

11月1日（木）・2日（金） 泉区児童音楽会

学年全員の出演で、2日間で3回開催した。最終到着時刻を定めたり、ステージリハを丁寧にしたりしたこと、スムーズに行うことができた。どの学校もしっかりと練習されてきたことが伺える美しい歌声や演奏だった。

11月14日（水）

区一斉授業研究会（岡津小学校）

2年 授業者 石川 美雪 先生

主題名「楽器の音を合わせて演奏しよう」（器楽）～山のポルカ～

4年 授業者 吉池 康子 先生

主題名「楽器の音を聴いて合わせて演奏しよう」（器楽）～オーラリー～

6年 授業者 塚本 靖則 先生

主題名「曲の特徴を感じ取って聴こう」（鑑賞）～ハンガリー舞曲第5番～

講師：蒲谷 猛 先生（中田小学校 校長）

天野 直美 先生（東中田小学校 校長）

12月12日（水）

区児童音楽会反省・一斉授業研振り返り

1月16日（水）**研修Ⅲ** ＜評価＞ 講師：蒲谷 猛 先生（中田小学校 校長）

2月20日（水） 年度末反省

5 研究の成果と及び課題

テーマに迫るために、2回の実践提案と研究授業、3回の研修を通して、幅広い内容について学ぶことができた。

実践提案では、4年生と5年生の提案を通して、器楽や歌唱の指導や授業の組み立て方を研究した。2回の指導案検討を重ねた研究授業では、部員の意見が活発に飛び交う研究会となった。講師の先生方からは、授業の焦点化や子ども達が生き生きとして活動するための手立てを教わった。

1回目の研修「音楽づくり」では、身近な曲を編曲する工夫や、地域や学校と関連させて作曲をしていくアイデアを得ることができた。2回目の研修「諸外国の音楽」では、諸外国や日本の音楽の特徴やよさに親しむ大切さ、そして、それらの音楽を比較し関連づけることから、「自分の中の音楽」を確立していく大切さを教えて頂いた。3回目の研修「評価」では、日頃感じている評価についての悩みを共有し合った後、講師の先生から、各観点の評価の見取り方や、新学習指導要領を意識した、本時目標（題材目標）・学習活動・教材の一致と焦点化を学んだ。

一方で「子どもたちが豊かに表現する」ことや、研究の内容の視点へ焦点が絞れていないといった課題が残ったので、来年度、さらに研究を深めていきたい。

平成30年度 瀬谷区音楽研究会 活動報告

1. 研究主題

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽の美しさを味わい、楽しんで表現しようとする心を育てる活動を目指して

～一人ひとりのよさを生かしながら表現を高め合い、
共に音楽活動をする喜びを共有できる子どもの育成～

2. 主題設定の理由

音楽の美しさや楽しさを味わうためには、子ども一人ひとりが音楽に興味・関心を持ち、自ら意欲的に取り組もうとする姿勢を育むことが大切である。

そのためには、子ども一人ひとりの思いや願いを温かく受けとめると共に、子どもが一人ひとりのよさを発揮し、共に音楽活動をする喜びを共有できるように適切な支援や指導をしたり、学習内容や学習方法の工夫をしたりしていくことが大切である。そこで、一人ひとりのよさを生かしながら楽しんで表現する心を育てたり、想像力を働かせながら音楽を聴く態度を育てたりすることができるよう、個や場面にあった支援や指導の在り方を探り、深めたいと考え、この主題を設定した。

3. 研究方法

実践をもとにした研究

授業研究（一斉授業研）

指導技術向上を図る実技研修

児童の活動を通じた研究（区音楽会 等）

4. 年間活動計画

☆研究部

★研修部

月	日	曜	会場	内容
4	11	水	瀬谷小	年間計画と組織づくり
5	16	水	瀬谷小	・区児童音楽会要領説明 ★情報交換（卒業式曲目、芸術鑑賞会、音楽部の取組等）
6	13	水	瀬谷公会堂	☆実践提案（瀬谷さくら小）
7	11	水	瀬谷小	★指揮法研修 講師 高島 典子 先生
8	20	月	星川小	★鑑賞指導研修（保土ヶ谷区と合同） 講師 栗飯原 喜男 先生
9	12	水	瀬谷小	★器楽指導研修 講師 澁田 美穂 先生
10	10	水	瀬谷小	・区音楽会連絡会議 ☆実践提案（南瀬谷小）
11	2	金	瀬谷公会堂	瀬谷区児童音楽会 講評 前田 周子 先生
11	14	水	瀬谷小	☆瀬谷区一斉授業研 指導案検討
12	12	水	瀬谷小	☆瀬谷区一斉授業研 指導案検討・模擬授業
1	16	水	瀬谷小	☆瀬谷区一斉授業研究会（瀬谷小）
2	20	水	瀬谷小	30年度の反省と次年度の調整

5. 研修 研究の概要

☆実践提案

6月「曲にあった美しい音色で楽器を演奏しよう」

提案 瀬谷さくら小学校 村上美奈子先生

9月「音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくろう」

提案 南瀬谷小学校 内海淳子先生

☆授業研究会 1月 瀬谷小学校

講師 教育委員会教職員育成課 指導主事 太田理絵先生

授業者 杉田 桂子 先生

橋本 博子 先生 ・ 島崎 賢一 先生

5年 「曲想を生かした表現を工夫して歌おう」(冬げしき)

個別支援級「音を合わせて演奏しよう」 (とんくるりん ぱんくるりん)

☆実技研修

7月 指揮法研修(講師 桜岡小学校校長 高島典子先生)

区児童音楽会に向けて、指揮法の基本を丁寧にわかりやすく教えていただいた。音楽部員だけでなく、区音楽会で指揮をされる学級担任も含め、多くの先生方が参加された。基本の叩きから2拍子、3拍子、4拍子、曲想表現へと段階を踏んで指揮をしていった。「指揮によって歌声が変わる、子どもの能力を引き出す指揮を」という高島先生の教えを心に留め、当日の音楽会で多くの先生方が立派に指揮される姿が印象的であった。

8月 鑑賞指導研修(講師 栗飯原喜男先生)

ホルストの「木星」を中心教材にして、進めていった。子どもたちが何を聴くかがわかるねらいを提示するために、共通事項を焦点化し、誰もがわかる発問を設定することが大事だと学んだ。また、知覚と感受のプロセスを重視しながら、両者の視点で聴かせることが必要とも教えていただいた。知覚と感受は評価にも繋がっていくことを、実際に音楽を聴きながら確認し、具体的に評価のポイントを皆で考えた。

9月 器楽指導研修(講師 湍田 美穂先生)

子どもの実態から課題を考え、目指す器楽活動を計画するところから始まった。教材は「どんぐりさんのおうち」「山のポルカ」「キリマンジャロ」など、幅広い学年にわたって行われた。鍵盤ハーモニカ、リコーダーの手入れの仕方や効果的な指導方法、器楽合奏の楽器の奏法などを具体的に教えていただいた。子どもも教師も満足できる器楽活動を目指そうと、部員一同が積極的に合奏を行う姿が印象的であった。

☆区児童音楽会

各校の協力により、スムーズに運営ができた。音響のよい瀬谷公会堂で、児童は生き生きと表現することができた。講師の四季の森小学校校長前田周子先生より、各校の子どもたちと指導者へ、演奏について丁寧に具体的な講評をいただき、励みとなった。

6. 研究の成果と反省

授業研究会や研修を通じて、研究主題に迫るために、日々の音楽授業のあり方や、学習内容についての適切な支援や指導法など、研究を深めることができた。学んだことが、区児童音楽会や日々の授業実践に生かしていくきっかけとなった。

今後も、今年度の考えを継続していくと共に、子どもの実態に対応できる具体的な指導の手立てや支援ができるように研究を進めていきたい。